

# 平成29年度 社会福祉法人 百八会 事業報告

## 1 はじめに

平成28年4月に熊本県と大分県で相次いで発生し、広域かつ甚大な被害をもたらした熊本地震から2年が経過しました。国庫補助等を活用して、平成29年5月より被害を受けた室内外の復旧工事に着工し、同年11月に完工することができました。なお、国庫補助に関係する申請手続も完了しております。

また各事業所は、地域から頼られ選ばれる施設となるため、平成28年度から人事考課制度を導入し、職員が仕事を通じて成長し働き甲斐を実感できる職場づくりを目指してまいりました。「人材育成」及び「組織の活性化」に向けて、本年度も引き続き適正かつ効果的な人事考課を行い、利用者サービスの質の向上や地域福祉の中心的な役割を果たし、皆さまのご期待に添うべく、法人の発展並びに社会福祉事業の推進に一層努力を重ねてまいります。

## 2 概要

### (1) 組織

#### ①理事会・評議員会

理事：7名 評議員：15名 監事：2名

#### ②理事会開催状況

第1回 6月8日開催

議案 平成29年度補正予算（案）について  
平成28年度事業報告について  
平成28年度決算報告について  
平成29年度賞与に伴う借入金について  
次期理事選任（案）について  
次期監事選任（案）について

第2回 6月27日開催

議案 理事長の選任（案）について

第3回 8月30日（書面決裁）

議案 平成29年度補正予算（案）について  
評議員の辞任に伴う次期評議員候補の選任（案）について

第4回 3月16日開催

議案 補正予算(案)について

平成30年度 事業計画(案)について

平成30年度 予算(案)について

就業規則の一部改正(案)について

経理規程細則(案)について

職員見舞金規程の一部改正(案)について

施設長の再任用(案)について

理事長の職務執行状況報告について

平成29年度既存建築物省エネ化推進事業(第3回)の採択事業の決定について

③評議員会開催状況

第1回 6月27日開催

議案 平成28年度事業報告について

平成28年度決算報告について

次期理事選任(案)について

次期監事選任(案)について

第2回 3月23日(書面決裁)

議案 定款変更(案)について

老人デイサービス事業の追加について

3 事業所

- ・特別養護老人ホーム シルバーピアさくら樹
- ・シルバーピアさくら樹 短期入所生活介護事業所
- ・シルバーピアさくら樹 通所介護事業所
- ・シルバーピアさくら樹 訪問介護事業所
- ・シルバーピアさくら樹 居宅介護支援事業所

4 地域福祉の推進

- ・地域のサロン、健康教室、老人会の集会へ職員が出向き、健康チェックやレクリエーション、講話等で協力しました。



- 地域行事への参加

8月に開催された桜木東校区の夏祭りには司会者や救護担当などで職員を派遣。  
10月には敬老の集い、12月には餅つき大会にも参加し、地域の皆さまと交流を図りました。



- 各種ボランティア受入れ

29年度のボランティア登録者数は75名。  
日舞、民謡、唱歌、折り紙、ちぎり絵、ちよんかけ独楽、いけばな、尺八等々、多くのボランティアさんが活動されました。  
研修会や交流会を企画し、さらに充実した活動を行っていただけるよう支援しました。



- エコキャップ収集活動

2008年からイオン九州株式会社の「ペットボトルで世界の子どものワクチンを届けようキャンペーン」に協力しています。  
29年度は合計272.55kg（ポリオワクチン約68.5人分）のキャップを収集し、イオンに届けることができました。



- 地域交流スペースの無料開放

会議室、ボランティアルーム、地域交流スペースを地域の皆さまに開放し、各種勉強会や会議、親子3B体操などに活用していただきました。



・ さくら樹マルシェ開催

近隣に住む人たち同士やさくら樹が自然につながりを持つことにより、住民の多種多様化する福祉ニーズを把握し、地域貢献へ繋げることを目的とし、8月20日(日)に開催しました。

若い世代には老人福祉施設は縁遠い施設であることから、まずは施設に興味を持ってもらい、来てもらい、知ってもらうことから始めようと、若い世代に受け入れられやすい「マルシェ」を企画したところ、350名を超える地域の皆さんにご来場いただくことができました。



・ 実習(研修)生の受入れ実績 (合計 29 名)

受入先	実習期間	実日数	学校/所属等	人数
特養 ・ 短期入所	8月8日 ~ 9月14日	23日	熊本学園大学/社会福祉学部	1名
	5月15日 ~ 25日	8日	熊本看護専門学校/看護学科	2名
	6月5日 ~ 15日	8日	熊本看護専門学校/看護学科	2名
	7月3日 ~ 13日	8日	熊本看護専門学校/看護学科	2名
	5月22日 ~ 6月13日	15日	菊池女子高等学校/社会福祉科	1名
通所介護 事業所	8月8日 ~ 9月14日	23日	熊本学園大学	3名
	6月5日	1日	菊池女子高	1名
	9月4日 ~ 9月8日	5日	同志社大学	1名
	7月11日 ~ 7月13日	3日	桜木中学校	1名
	8月16日 ~ 8月18日	3日	熊本農業高等学校	1名
	9月21日 ~ 10月4日	10日	熊本県立支援学校	1名
	10月5日	1日	無職(職場体験学習)	1名
	10月20日	1日	無職(職場体験学習)	1名
	11月13日 ~ 14日	2日	無職(職場体験学習)	1名
3月6日	1日	シルバーヘルパー	4名	
栄養部	8月28日 ~ 9月1日	5日	尚絅大学 生活科学部	2名
居宅	H30/3月6日 ~ 4月11日	3日	熊本県介護支援専門員協会	4名

## 5 広報

- (1) 地域交流紙「さくら樹」年5回、各1,000部を発行しました。  
春号(4月発行)、夏号(7月発行)、秋号(10月発行)、新春号(1月発行)  
入居者の家族、デイやヘルパー利用者だけでなく、市内の特養や地域住民等に広く配布し、施設のPRに活用しました。表紙に職員の写真を掲載することにより、地域の方により身近で親しみやすいイメージを持っていただけたようです。
- (2) 法人運営の透明性確保のため、法人の現況報告開示等の発信媒体として、インターネット(ホームページ)を活用しました。

## 6 施設内研修実績

実施月	研修内容(担当部署・委員会)
平成29年 4月	消防設備について(事務部)
5月	食中毒(栄養部)
6月	パワハラ・セクハラについて(事務部)
7月	百八会について(施設長・各部署長)
8月	身体拘束・虐待防止(社会福祉士)
9月	救急法(労働安全衛生委員会)
10月	感染症対策(感染対策委員会)
11月	メンタルヘルス(労働安全衛生委員会)
12月	接遇について(苦情接遇委員会)
平成30年 1月	事故防止(安全対策委員会)
2月	個人情報保護法(安全対策委員会)
3月	各委員会からの報告(各委員会)

## 7 委員会の実施状況

会議などの名称	参加職員	実施状況	会議の内容
運営委員会	理事長、本部長、施設長、幹部職員	毎月第1木曜日	各事業所の現状・問題点など
教育委員会	施設長、各部署代表	毎月第1火曜日	施設内外の教育・研修について協議、企画実施
安全対策・身体拘束廃止委員会	本部長、施設長、各部署代表	毎月第2木曜日	ヒヤリハットの検証・身体拘束廃止などについて
労働安全衛生委員会	施設長、各部署代表	毎月第3火曜日	職員の労働・安全・健康に関する事項
災害対策委員会	施設長、各部署代表	偶数月第3火曜日	防災計画、災害時マニュアルの整備
感染対策委員会	施設長、各部署代表	毎月第3水曜日	感染症予防、発生時の感染拡大防止
福利厚生委員会	施設長、各部署代表	毎月第3水曜日	職員の福利厚生について
季節行事委員会	各部署代表	随時	保育園等との交流会や飾馬見物等の企画実施
CS委員会	施設長、各部署代表	毎月第1火曜日	サービス向上のための諸問題検討、解決
苦情対策委員会	施設長、各部署代表	毎月第2水曜日	施設、職員への苦情・接遇・ご意見について
地域浸透プロジェクト委員会	本部長、各部署代表	毎月第2水曜日	行事・広報誌・ホームページ・展示・掲示物について
ボランティア委員会	各部署代表	随時	ボランティアについて

## 平成 29 年度 特別養護老人ホームシルバーピアさくら樹事業報告

1 社会福祉法人百八会の基本理念に基づいた個人の尊重を基本方針として、私達は入居者様の生活支援と健康管理に努め、又、ケアの向上の為自己研鑽に努めた。

### (1) ウォーキングカンファレンスへの取り組み

毎朝各ユニットで介護士・看護師と入居者様の身体状況や生活状況の情報交換を行い、入居者様の個別ケアのサービス提供に努めた。

### (2) 24 時間シートの改善

昨年に続きケアの統一を図る為、入居者様の身体・精神的情報を多職種が共有し、入居者様により的確なケアが提供できるように 24 時間シートの記載内容を検討し改善した。それにより誰でも入居者様の個別ケアのサービス提供が出来るようになった。

## 2 家族会の開催

初めての試みでしたが多くのご家族が参加され、レクリエーションとして外部ボランティアの「ひよっとこ踊り」と合わせて行った。その後、各ユニットで入居者様・ご家族・職員と茶話会を開き、色んな話題で交流が出来た。

## 3 入居者概況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

### (1) 退居者 9 名

内訳：死亡 4 名 ※その内、看取りは 2 名

転居 1 名

医療機関 4 名

### (2) 新入居 8 名

内訳：老健 2 名

医療機関 2 名

有料老人ホーム 4 名

### (3) 各種データ

男 女 比： 男性 16%：女性 84%（男性 8 名：女性 41 名）

平均年齢： 90.2 歳（男性：87.9 歳 女性：90.6 歳）

平均介護度： 4.29（男性:4.13 女性:4.33）

受診延回数： 118 回

入院延人数： 23 人

#### 4 職員の状況

##### (1) 委員会活動への参加

さくら樹全体の委員会はもとより、入居様のより身近な事に関しては入居部の委員会とした。スタッフが意見を出しやすくなり、現状に沿った話し合いや活動をすることが出来、委員会活動が活発化し充実した。

##### 【入居部の委員会】

- ①抑制廃止・虐待防止委員会
- ②褥瘡予防委員会
- ③マニュアル委員会
- ④記録・ケアプラン委員会
- ⑤レクリエーション委員会
- ⑥栄養・口腔ケア委員会

##### (2) 積極的な研究発表への参加

今年は医務室が「特養における看護師の役割」という題で、とうや病院グループの研究発表会と県の老人福祉施設研究大会で発表を行い、とうや病院グループの発表会では 審査員特別賞を頂いた。

##### (3) 研修参加

施設外研修延べ人数	・・・	94人
施設内研修参加者平均人数	・・・	31.2人
入居部勉強会参加者平均人数	・・・	30.6人

※入居部勉強会においては各ユニットや入居部委員会が担当して、月に2回 同じテーマで30分のミニ勉強会を施行した。

#### 5 一年間を通して

平成28年度は病院受診数が202回であったが、29年度は約半分の118回だったことは、職員が日々のケアの中で感染予防や異常の早期発見をしているからで、入居者様が安全で健康な生活が送れるよう支援に努めているからだと思います。

昨年の課題であった研修参加人数が、施設内外の研修において非常に多くなったことは良かったと思います。特に入居部の勉強会においてはロールプレーをしたり今までに無い積極的で充実した内容の勉強会でした。

職員の離職率は8%と低値であったことは喜ばしいことだと思います。今後も働きやすい職場風土作りと職員の質の向上に向けて努力したいと思います。



## 平成 29 年度 シルバーピアさくら樹 短期入所生活介護事業所

### 事業報告

#### 1 基本方針

特養基本方針に準ずる

#### 2 対象者

介護保険で「要支援・要介護」と認定された方

#### 3 サービスの概要

- (1) 入浴 利用者の状況に合わせた入浴
- (2) 食事 時間、食形態を利用者に合わせ提供
- (3) 排泄 個別ニーズに応じた支援
- (4) その他、自立に向けた日常生活援助、生きがいのためのレクリエーション、作業療法士（OT）によるリハビリ

#### 4 利用料金

利用者の要介護度に応じた自己負担額。介護保険による料金の改定なし。

#### 5 配置職員

介護保険法に規定する職員配置（介護福祉士 2 名、介護士 1 名、看護師 1 名）

#### 6 短期入所生活介護年間利用実績

月	利用実数（延べ）	稼働率（％）
4	1 2 0	8 0
5	1 2 4	8 0
6	1 4 3	7 9
7	1 4 1	7 6
8	1 5 6	8 4
9	1 4 8	8 2
1 0	1 6 2	8 7
1 1	1 5 8	8 8
1 2	1 6 1	8 7

1	140	75
2	135	80
3	158	85
年間	1,746	82

※ショートステイの平均稼働率は、平成28年度は73%であったものが平成29年度は82%と大幅にアップしている。これは、居宅介護支援事業所へのこまめな連絡、さくら樹ならではのショート独立の造り、スタッフの細やかなケアの賜物であると思われる。

熊本地震によるショートベッド利用者（平成28年4月15日から利用）が、自宅の完成により平成29年5月31日で利用終了となり、6月1日より6部屋での再開となった。

今後の課題として、稼働率を上げるために様々な新規利用者の受け入れを行ったが、中には認知症状が強く、特に夜間に目が離せない利用者もありスタッフが対応に苦慮し他の利用者に手が回らないという問題点も浮き彫りになった。今後は、利用希望者誰でもという訳ではなく、これまで通り初回は基本1泊2日で泊まっただき、そこでの今後の利用をしっかりと検討していく必要がある。

また、予約の時点では100%近い状況があり、利用希望者をお断りすることもあり、新規の方等関連施設への紹介を行った。今後も、関連施設で連携し、稼働率を保つように努力していきたい。

## 平成 29 年度 シルバーピアさくら樹 通所介護事業所 事業報告

### 1 事業報告

介護保険法に基づき、通所介護の事業の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の相談員、介護職員及び看護職員等が利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図る為、要介護状態または、要支援状態にある高齢者に対し、適正なサービスを提供した。

(営業日及び営業時間)

営業時間	月曜日～土曜日（但し 12 月 31 日～1 月 3 日を除く）
サービス提供時間	午前 9 時 15 分 ～ 午後 4 時 30 分
利用定員	50 名

### 2 事業内容

#### (1) 生活支援

利用者の生活状況を把握し、指導・援助を実施。(家族や利用者間の調整、自立支援のための個別プログラム、利用日の調整など)

#### (2) 機能訓練

利用者の A D L の評価を行い、個々の身体状況に応じてプログラム内容を策定実施した。またグループ活動におけるゲームや行事参加などに加えて運動療法、音楽療法も実施し職員と利用者の良好な人間関係を築けるような雰囲気づくりにも心がけた。

#### (3) 養護

1 日の利用を通じ、利用者が安全かつ快適に過ごせるよう配慮し、食事・歩行・排泄の介助、利用者の自主性や積極性を自然に引き出せるような人間関係づくりを心がけた。

#### (4) 健康チェック

毎日の健康チェックは、血圧測定、体温測定、パルスオキシメーター測定や定期的な体重測定など、全身状態の把握を行い、利用者に異常があった場合は看護師による処置・適切な対応を行った。

(5) 送迎

利用者宅の玄関からデイサービスの玄関まで(door to door)の送迎を安全に行った。

(6) 入浴

利用者の身体状況と希望に応じて一般浴、個人浴、機械浴、清拭、足浴の対応を行い保清に努めた。また、皮膚状態の観察を行い異常の早期発見と対応に努めた。

(7) 食事

個々の嗜好や健康状態に応じ、栄養の必要量をバランスよく盛り込み季節感あふれる献立（管理栄養士が作成）で個人の咀嚼能力（刻み食、トロミ食、ソフト食など）に応じた対応ができた。また食事前の嚥下体操、食事後の口腔ケアも実施できた。更に日本訪問歯科協会と連携して無料検診も実施できた。

3 その他の活動や行事

(1) 機能回復訓練を目的としたレクリエーション活動の企画と実施

レクリエーションは、「利用者全体で行うもの」と「個別に行うもの」「グループで行うもの」3通りに分けて、利用者の希望によりレクリエーション活動に参加していただき、良い人間関係をつくりつつ利用者の自主性・積極性を引き出す活動を行った。毎月のデイ会議で企画や実施後の反省点などについての意見交換を行い、次のレクリエーション活動に繋いでいった。

(2) カルチャー

利用者全体で行うものと個別に行うものと2通りに分けて、利用者の希望によりカルチャー活動に参加して頂いた。

(3) ボランティアの受け入れ

地域の方の協力により、週に数回定期的に来ていただき、話し相手や外出の付き添い、日舞・民謡・唱歌・琵琶や三味線・大正琴演奏・尺八やオカリナ演奏・ギター演奏・フラダンス・囲碁・手話ダンス・保育園の慰問、書道、絵手紙・折り紙・ちぎり絵の作品指導に来ていただくほか、月に6回（月～土）は、地域交流スペースにて喫茶さくらをオープンできた。

(4) 地域支援

近隣の地域で行われている高齢者のサロンや老人会へ参加し、血圧測定や健康相談、ゲームやレクリエーション、健康体操等を提供し地域との交流に努めた。

#### 4 利用者の動向

(1) 登録者内訳（平成 30 年 3 月 31 日現在）

①利用者数(名)

	予防	介護	計
男性	8	22	30
女性	11	57	68
合計	19	79	98

休み

入院/入所	14
自宅療養	0
計(名)	14

※3月登録者数 112名

**\*平成 30 年 3 月 31 日の登録者数 112 名。そのうち 14 名が入院や老健の施設を利用されており、実績は 98 名であった。**

②年齢

年齢(歳)	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
人数(名)	1	6	3	12	22	31	23	98

最年少：64 歳（第 2 号被保険者）  
最高齢：99 歳

平均年齢：84.3 歳  
男性：82.4 歳 女性：85.2 歳

③世帯構成

※同居	夫婦のみ	独居	有料老人ホーム
63	19	21	9

計 112 名

※子供世帯や兄弟と同居

④要介護度

介護度	人数	計
要支援 1	9	計 19
要支援 2	10	
要介護 1	36	計 79
要介護 2	17	
要介護 3	17	
要介護 4	4	
要介護 5	5	

平均介護度：1.75 男性：1.93 女性 1.67
-------------------------------

合計 98 名

\* 平均年齢は昨年とほぼ変わらないが、平均介護度は0.14 増えている（介護5の件数が約2倍に増えている）。引き続き、中重度の利用者の受け入れを継続していく。

⑤関連事業所 32事業所

赤とんぼ	桜十字熊本東	ヒルサイドガーデン大樹
居宅あきつ	サンライズヒル	ふくし大夢
エイジェントケア	シルバーライフ熊本	ふれあいの里
おびやま居宅	たくまの里	福田はり灸ケアセンター
学研コフアン熊本	トラスティホームげんき	益城病院居宅
ぐれいす	はあとふる	みどりの樹 健軍
熊本ケアプランセンター	ハーモニー	モンクールの杜
熊本看護協会くまもと	八王子の杜	ライフケアわかば
ケアプラス	はなもも	ささえりあ あさひば
コスモピア熊本	パンプキンハウス	ささえりあ 尾ノ上
在宅 ST 水前寺	シルバーピアさくら樹	

\* 新規の事業所との契約もあった。

(2) 年間利用者 H29年4月～H30年3月

①月別利用者(件)

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
4月	31	85	386	244	61	35	42	884
5月	31	95	428	265	96	45	39	999
6月	44	93	394	214	102	35	34	916
7月	36	83	373	214	130	57	37	930
8月	51	80	429	183	123	48	48	962
9月	48	82	416	190	125	49	53	963
10月	51	94	426	218	113	55	39	996
11月	47	88	414	207	142	43	21	962
12月	49	93	405	179	139	38	25	928
1月	42	84	342	137	121	49	33	808
2月	32	70	351	154	115	36	41	799
3月	36	85	381	201	167	41	44	955
合計	498	1,032	4,745	2,406	1,434	531	456	11,102
平均	41.5	86	395.4	200.5	119.5	44.25	38	925.2

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
29年度	884	999	916	930	962	963	996	962	928	808	799	955
28年度	581	851	911	925	914	939	938	923	959	884	841	953
27年度	906	934	928	961	848	819	911	898	952	869	918	926

\* H29年度 11,102件 平均925.2件

\* H28年度 10,619件 平均884.9件(地震の為、6日間中止)

\* H27年度 10,870件 平均905.8件

②月別利用者(数)

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
4月	8	13	40	23	7	5	4	100
5月	8	12	41	21	9	4	4	99
6月	11	12	41	20	10	4	4	102
7月	10	11	41	20	13	5	3	103
8月	13	10	42	16	13	4	4	102
9月	13	11	42	15	12	4	4	101

10月	13	12	41	19	10	5	4	104
11月	12	11	39	19	12	4	3	100
12月	12	12	39	16	13	4	3	99
1月	12	12	38	15	12	4	5	98
2月	10	10	38	16	13	5	6	98
3月	9	10	36	17	17	4	5	98
合計	131	136	478	217	141	52	49	1,204
平均	10.9	11.3	39.8	18.1	11.75	4.33	4.1	100.2

29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規	7	3	7	6	3	4	3	1	2	3	4	4	47
終了	2	4	2	5	7	3	4	2	0	3	3	3	38

29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院 自宅療養	10	9	10	14	9	13	9	8	8	15	14	12	131

\*H28年度の月900件を目標としていたが、地震のあった、4月を除いた年間平均では924件と達成できたため、H29年度は月目標1,040件、日40件（稼働日26日計算）を目標としたが、入院・自宅療養が平均11名あり、平均925.2件と目標達せ出来なかった。H30年度も月目標1040件、日40件（稼働日26日計算）を目標に頑張っていきたい。

また、H30年5月より定員が50名から55名と増員となったため、今後も新規の受け入れ、定着を図り、利用者の状態変化への対応を早期に行う事で、入院などを予防し、利用の継続を図っていきたい。

\*平均で新規3.9人、終了・中止 3.2人と新規が上回った。

#### 4 平成29年度年間行事

※ 随時 毎月誕生会

	行 事	行事食及び特別献立
4月	・お花見 3/28~4/6	・お花見弁当 3/27~4/1 ・セレクトおやつ 4/19(水)
5月	・母の日 5/9~13 ・菖蒲湯 5/5	・祝母の日 ・セレクトおやつ 5/19(金)



6月	・父の日 6/12~17	・祝父の日 ・セレクトおやつ 6/27 (火)
7月	・七夕祭り 7/7 ・夏祭り 7/20~21	・七夕食 ・セレクトおやつ 7/22 (土)
8月	・おやつ作り 8/29 (芋みたらし団子)	・セレクトおやつ 8/23 (水)
9月	・敬老会 9/11~16 ・コスモス見学 なし	・祝敬老食 9/11~16 ・セレクトおやつ 9/25 (月)
10月	・おやつ作り 10/4 (カスタード巻)	・セレクトおやつ 10/24 (火)
11月	・文化祭 11/1~30	・寿司バイキング 11/1 ・セレクトおやつ 11/16 (木)
12月	・クリスマス会 12/25 ・ゆず湯 12/22	・クリスマスオードブル ・セレクトおやつ 12/15 (金)
平成30年 1月	・初詣 1/9~13	・祝新年食 ・セレクトおやつ 1/25 (木)
2月	・節分 2/3 (金)	・恵方巻き 2/3 ・セレクトおやつ 2/17 (土)
3月	・おひな祭り 3/3 (金)	・ちらし寿司 ・セレクトおやつ 3/7 (水)

**\* 行事の縮小を行い（職員の負担軽減を図るため）、日々の中で楽しんで頂く様にしたが、利用者様から外出行事の希望もあったため、H30年度は、4グループ（季節ごとに）に分け、行事を行う事にした。**

#### 5 職員（新人）内部研修（第1木曜日）

4月	・理念、法令遵守について（組織体制と法令遵守について） ・通所介護事業所の関連法規について
5月	・症例検討（困難事例）
6月	・症例検討（困難事例）
7月	・研究発表検討
8月	・人工透析・糖尿病について

9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 敬老会について</li> <li>▪ 認知症について</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 認知症について</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 緊急時の対応と車両の操作方法について</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 研修報告（症例検討）</li> </ul>
平成30年 1月	
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 新年度事業計画について</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 一年を振り返って</li> <li>▪ H30年度の介護報酬について</li> </ul>

\* 専門職としての資質向上と、より良いサービスの提供を目指し、職員の連携を大切にした研修会議を行った。他、施設内研修にも参加した。症例検討に偏り過ぎたため、H30年度は再度研修を行っていく。

～まとめ・総括（次年度に向けて）～

平成30年度の目標は、H29年度に達成できなかったため、引き続き ①目標平均日40件、月1,040件 ②整理・整頓 ③報・連・相の徹底 ④地域行事への参加・交流（全スタッフ年1回以上） ⑤外部研修会への参加（年1回以上）とした。目標を達成出来るよう、事業所一丸となって取り組んでいく。

## 平成 29 年度 シルバーピアさくら樹 訪問介護事務所 事業報告

### 1 事業報告

社会福祉法人百八会の訪問介護事業所は、基本方針を基に事業運営に努めました。利用者が安心してすこやかに生活していただける環境の提供を目指し、事業所と在宅・地域との連携を取りながら事業推進を図りました。

また、地域に根ざした幅広いサービスの提供と、法人施設全体のスケールメリットを生かした事業展開を行ないました。

- (1) 利用者本位で、尊厳のある生活を守り、自立を目指した生活支援に努めました。(ADLの維持・向上と高いQOLの実現)
- (2) 利用者が、日々健康な生活を維持できるよう健康管理に努めました。
- (3) 保健・福祉・医療の各関係機関との連携を密にし、サービス提供責任者と訪問介護員のサービスの質の向上を図りました。
- (4) 専門職を高めるため各自自覚をもち、自己研鑽に励み、理論的な裏付けに基づいたサービスの方法・技術の向上に努め、質の高いサービスが提供できる人材の育成を目指しました。
- (5) 利用者一人ひとりの嗜好に応えられるよう勉強し、支援しました。
- (6) 掃除等、家事については、利用者の出来ないところの支援を行い、保有能力を活かせるように支援しました。

### 2 活動報告

- ・平成29年6月4日(日) シルバーピアさくら樹にて  
＜平成29年度 第4回 熊本市サービス提供責任者研修会開催＞  
「今、何が出来る、命と生きる介護人」  
講師：桜木東校区自治協議会 会長 丸山鶴雄 氏  
「気持ちにゆとりとやさしさを 自分を変えるチャンスをつかむ」  
講師：桜木東校区自治協議会 副会長 竹山君恵 氏
- ・平成29年9月6日(水) シルバーピアさくら樹にて  
人材確保について、現状と今後の課題など熊日新聞の記者と面談  
⇒ 熊日新聞朝刊に3回にわたり掲載される。
- ・平成29年9月19日(火) シルバーピア さくら樹にて  
熊本市議を囲んでヘルパー不足について面談

- ・平成29年10月3日（火）熊本市役所にて
  - 第1回 熊本市健康福祉局福祉部高齢介護福祉課 高本課長との面談
  - 人材不足について(総合事業など特に現場のヘルパー不足で対応困難)
  - 総合事業の受入れ現状について
  - 総合事業に対する3級ヘルパー育成について
  - サービス提供責任者の報酬について
  - ヘルパーの高齢化について
  - ⇒後日、熊本市高齢福祉課より検討された項目の返答あり。
  
- ・平成29年10月16日（月）
  - 総合事業に関する熊本市全域訪問介護事業所へのアンケート調査実施
  
- ・平成29年11月11日（土）健軍商店街にて
  - 第1回 スマイル介護デー「やってみようホームヘルパー」開催
  - ヘルパーの魅力や人材確保PRとチラシ配布と活動内容パネル展示
  - 訪問介護の3級程度の資格がとれる詳細プリント配布と説明
  - ヘルパー考案 簡単茶碗蒸し200食試食配布
  
- ・平成29年12月8日（金）県庁にて
  - 「働き方改革推進事業について」
  - 熊本県商工観光労働部商工労働局労働雇用創生課 永野主幹と面談
  
- ・平成29年12月16日（土）NPO法人お～さぁにて
  - 「お～さぁクリスマス会」にてヘルパーの魅力PRと人材募集の活動
  
- ・平成29年12月22日（金）熊本市議会応接室
  - 第2回 熊本市健康福祉局福祉部高齢介護福祉課 高本課長と面談
  - スマイル介護デーイベントの報告と来年の計画
  - 総合事業のアンケート結果報告
  - 行政からの訪問介護事業所への質疑応答
  
- ・平成30年1月10日（水）ウェルパル熊本にて松原副課長と面談
  - 「生活援助型訪問ヘルパー養成講座に関する意見交換会」

### 3 その他の活動

- ・ サービス提供責任者研修会について企画・運営

- ・各訪問介護事業所の不安要件の事例検討、運営、活動の相談など

#### 4 訪問介護員(登録ヘルパー)勉強会報告 (登録ヘルパー16名)

- 4月 ホームヘルパーの出来る事、出来ない事、一年間の目標
- 5月 病気についての知識と正しい薬の飲み方、腰痛体操
- 6月 熊本県サービス提供責任者研修会の報告
- 7月 救急法—利用者宅で急変時における対応
- 8月 接遇につて
- 9月 調理実習 簡単にできる茶碗むし
- 10月 認知症を正しく理解する
- 11月 動作介助・排泄介助などの身体介護の手順
- 12月 感染予防
  - 1月 メンタルヘルス勉強会
  - 2月 リスクマネジメント
  - 3月 各自の一年間の目標達成について自己評価

#### 5 研修会等参加のまとめ

認知症の研修会、県が推進する働き方改革セミナー参加、地域活動に伴うふれあい生き生きサロンへの参加、地域ケア会議ミニサンカへの参加などを通して介護の専門職として自己研鑽に励みました。また、人材確保は永遠のテーマでもあるので、今年度は特に力をいれて人材確保にむけて活動させていただきました。

当施設においては訪問介護のプロとして、困難事例や身体介護を重点とする利用者に誰でも対応できるように、訪問介護職員一人ひとりの知識や技術向上にむけての勉強会を実施。今後も地域に根ざした在宅サービスのあり方を学び、総合事業にむけ、多職種や地域の皆様と連携を図ってまいります。

#### 6 一年間を通して

平成29年度は一昨年熊本地震による利用者低迷の余波をようやく改善でき、実績アップへとつながりました。今後もさらにまい進していきたいと思ます。

## 平成 29 年度 シルバーピアさくら樹居宅介護支援事業所 事業報告書

### 1 事業報告

- (1) 平成 29 年 4 月よりスタートした、熊本市や益城町が行う「介護予防・日常生活支援総合事業」の内容を理解し、関係事業所と相談しながら利用者や家族に説明を行い支援を行った。
- (2) 高齢者が要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい生活を最期まで送れるように地域がサポートし合う地域包括ケアシステムや地域ケア会議が果たす役割を理解できるように研修会や会議に参加した。
- (3) 地域の自治会や老人会などを通して、地域の方々の介護予防・健康増進に務め、同時に要介護認定を受けられた利用者及び家族の生活を支援し、在宅介護をはじめとした総合相談に応じるよう努めた。また福祉サービスの提供及び社会資源を有効活用出来るよう、市町村保険者、地域包括支援センター、保健・医療・福祉サービス提供機関との連絡調整を行った。

#### 営業日及び営業時間

営業日	月曜日～土曜日（日曜日、祝祭日は除く） （年未年始（12/31～1/3 まで）
営業時間	午前 8 時 30 分～午後 5 時（月曜日～土曜日）

### 2 事業内容

- (1) 在宅介護に関する全般的な相談。
- (2) 居宅サービス計画、介護予防サービス計画の作成
  - ① 利用者へサービスの選択に必要な情報を提供
  - ② 利用者を支援する上での課題の把握と利用者及び家族への説明
  - ③ サービスの目標、達成時期を盛り込んだ居宅サービス計画の作成
  - ④ サービス担当者会議の定期的開催、担当者との連絡調整
  - ⑤ サービス計画書に対する利用者の同意
  - ⑥ サービスの実施状況の把握と評価
- (3) 行政・地域包括支援センターとの連携。
- (4) 医療・福祉との連携。
- (5) 新しいサービス、施設等の情報収集。
- (6) 医療・介護・福祉に関連した研修。
- (7) 地域活動の支援（サロンや老人会への参加、協力、支援）

### 3 利用者紹介（合計 37 件）

事業所名	件数	事業所名	件数
ささえりあ尾ノ上	3	平成とうや病院	1
ささえりあ桜木・秋津	7	水前寺とうや病院	4
ささえりあ江津湖	8	問い合わせ（来所・電話）	2
桜十字病院	1	利用者家族や職員・知人等	5
江南病院	1	他居宅事業所	3
西日本病院	1	益城包括より	1

「ささえりあ」や「病院」からの紹介が約60%を占めている。  
また、新たに病院や益城の包括支援センターからの依頼も受けている。

### 4 研修報告

期 日	内 容
平成29年 5月12日(金)	・東区主任ケアマネの会（社会資源部リーダー会）
5月15日(月)	・東区主任ケアマネの会（ケアマネジャー支援隊部会）
6月20日(火)	・平成29年度集団指導
6月21日(水)	・くまもとの在宅医療を考える
7月18日(火)	・居宅介護支援事業所 管理者向け研修会
7月20日(木)	・地域ケア会議 事例検討
8月17日(木)	・地域ケア会議 事例検討
9月21日(木)	・地域ケア会議 事例検討
9月29日(金)	・多職種連携会 ミナサンカ
10月12日(木) ～11月14日(火)	・介護支援専門員アセスメント研修
10月19日(木)	・多職種連携会 ミナサンカ
10月19.11月9日 12月4.18日	・介護支援専門員更新研修
11月15日(水)	・地域連携会 ミナサンカ
11月16日(木)	・地域ケア会議 事例検討
11月28日(火)	・自立支援型のケアマネジメント研修

※施設内研修（毎月）・事例検討会（毎月）・新人研修（平成30年2月）

ミーティング（1/週）等も行っている。

平成30年度は、介護支援専門員更新研修・主任介護支援専門員研修に参加。  
他法人との合同の研修会も行う予定である。

(次年度に向けて)

登録利用者 150 人を目指して、グループ病院や包括支援センターにはもちろん地域の病院や事業所、施設等と連携を図り、地域サロンや老人会へも積極的に参加していきます